

# Oracle Enterprise Manager

日本語リリース・ノート

リリース 1.6.5

2000 年 5 月

製品番号: J01444-01

## 目次

- 1. 概要 ..... 2
  - 1.1 この文書の目的 ..... 2
  - 1.2 リリース 1.6.5 製品コンポーネント ..... 2
  - 1.3 ソフトウェア要件 ..... 2
- 2. ソフトウェア互換性 ..... 3
  - 2.1 Oracle Enterprise Manager と Oracle Server ..... 3
- 3. コンソールの制限事項 ..... 3
  - 3.1 コンソール一般の制限事項 ..... 3
  - 3.2 ジョブ・システムの制限事項 ..... 4
  - 3.3 イベント・システムの制限事項 ..... 4
- 4. 標準アプリケーションの制限事項 ..... 4
- 5. 拡張アプリケーションの制限事項 ..... 5



Oracle と Oracle のロゴは Oracle Corporation の登録商標です。記載されているその他の製品名および社名はその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれ該当する所有者の商標です。

# 1. 概要

## 1.1 この文書の目的

このリリース・ノートでは、Oracle Enterprise Manager（以下 OEM）リリース 1.6.5 の日本語処理に関する制限事項および制約事項を記述します。

OEM は、単体のアプリケーションではなく、管理クライアント側で稼動するコンソール、管理対象のノード（Oracle Server）側で稼動する Intelligent Agent、管理コンソール上で稼動する標準アプリケーションおよび別ライセンス製品の拡張アプリケーションから構成されます。OEM 日本語リリース・ノートにおいては、各アプリケーションごとの制限事項について記述します。

## 1.2 リリース 1.6.5 製品コンポーネント

コンポーネント名	リリース番号
Oracle Administrator Toolbar	1.6.5.0.0
Oracle Enterprise Manager	1.6.5.0.0
Oracle Enterprise Manager Documentation（英語版）	1.6.5.0.0
Oracle Intelligent Agent	8.0.6.0.0
Oracle Replication Manager	1.6.5.0.0
Oracle Security Server Manager	2.0.5.0.0
Oracle Web Server Manager	1.6.5.0.0

注：コンポーネントは製品メディアに含まれる製品コンポーネント一覧を記載したもので、製品ライセンスとは対応していません。

## 1.3 ソフトウェア要件

OEM リリース 1.6.5 は、Windows NT 4.0 日本語版+サービスパック 4 以上、および Windows95/98 上の動作をサポートします。Windows2000 上での動作はサポートされません。

## 2. ソフトウェア互換性

### 2.1 Oracle Enterprise Manager と Oracle Server

次の表に、Oracle Enterprise Manager リリース 1.6.5 のコンポーネントと Oracle Server の各リリースとの互換性を示します。コンポーネントが特定のサーバー・リリースで動作することが確認されている場合、その項目に「あり」と記されています。コンポーネントが特定のサーバー・リリースで動作することが確認されていない場合、その項目に「なし」と記されています。

	Oracle Server リリース番号		
	7.3.4	8.0.x	8.1.x
Oracle Enterprise Manager	あり	あり	なし

## 3. コンソールの制限事項

### 3.1 コンソール一般の制限事項

- 3.1.1 OEM コンソールにログインをするときには、必ず接続モードを NORMAL としてください。（バグ 497627）
- 3.1.2 コンソール上の「マップ」メニューで「グループ作成」するときのグループ名には、全角文字はサポートされません。（バグ 512720）
- 3.1.3 OEM は WindowsNT のシステム・フォントとして「小さいフォント」を用いることを前提において画面レイアウトがされています。そのため「大きなフォント」を指定した場合、ボタンや入力フィールドなどの部品が適切な位置に表示されず適切な操作ができなくなる場合がありますので、OEM の使用にあたっては必ずシステムフォントとして「小さいフォント」を用いてください。
- 3.1.4 Windows NT のマウス設定で「規定のマウスに移動」ボックスをチェックしていると、まったく関係ない位置にカーソルが移動してしまう場合があります。マウスのチェックを外してください。（バグ 485549）

## 3.2 ジョブ・システムの制限事項

- 3.2.1 ジョブ・システムで、リスナーなどを起動するとき、エージェント用のユーザーに適切な権限が付与されていないと、ジョブが失敗することがあります。NT サーバー上のエージェント用のユーザーは、「Administrator」グループに属するようにしてください。
- 3.2.2 ジョブ・システムで、日本語文字列を含む Tcl スクリプトを実行した場合、スクリプトが正常に実行されない場合や、スクリプトの結果に文字化けが発生する場合があります。Tcl スクリプトを使用する場合には、スクリプト中に日本語文字列を使用しないでください。
- 3.2.3 ジョブシステムで、ジョブの出力を別名で保存した場合、保存したファイルの最終行に文字化けが発生する場合があります。ジョブの出力を保存する場合には、画面からのコピーなどで対応してください。（バグ 405649）

## 3.3 イベント・システムの制限事項

- 3.3.1 ポケットベルによるイベントの通知機能は、FLEX-TD 方式のポケットベルをサポートしており、それ以外の送信方式のポケットベルではご利用できません。FLEX-TD 方式のポケットベルは、NTT DoCoMo 社から「インフォネクスト・シリーズ」として販売されております。それ以外のポケットベルはサポートされません。
- 3.3.2 ポケットベルによるイベントの通知機能を NTT DoCoMo 社の「インフォネクスト・シリーズ」のポケットベルと組み合わせてご利用される場合、NTT DoCoMo 社がポケットベルのオプション・サービスとして提供している「パスワード・サービス」は利用できません。「パスワード」を設定している場合には「パスワード」を解除してご利用ください。

## 4. 標準アプリケーションの制限事項

- 4.1 SQL WorkSheet で「コマンド履歴」ダイアログ・ボックスを表示するとき、「コマンド・テキスト」の表示には最新のコマンドが表示され、「コマンド・リスト」から選択しても「コマンド・テキスト」に反映されない場合があります。ただし、この場合でも、入力ペインにはコマンドの入力ができます。（バグ 513245）
- 4.2 Data Manager で、日本語オブジェクトを含むデータベース・スキーマに対してエクスポート、あるいはインポートのジョブを発行する時、データベース側の文字コードが Shift-JIS 以外だと、ジョブが失敗します。データベース側の文字コードが Shift-JIS 以外の場合は、ローカル・マシンに直接エクスポートあるいはインポートを行ってください。

## 5. 拡張アプリケーションの制限事項

- 5.1 Replication Manager を最初に起動したとき、メニューバーから「デフォルト」-「フォント」を選択し、「MS 明朝」などの日本語フォントをデフォルト・フォントとして選択してください。日本語環境での文字化けが解消されます。この設定は自動的に保存されますので、2 回目以降の起動時には設定は必要ありません。
- 5.2 Security Server Manager は、英語版製品として提供されます。